気象の恵みと災害

気象は、わたしたちの暮らしにどんな恵みと災害をもたらすか

気象の恵み

水資源

雨や雪が川・地下水・ダムにたくわえられ、
飲み水・農業・工業・発電に使われる。

雪どけ水

春から夏にかけて川に流れ、
田畑をうるおす。

季節の変化

季節ごとの天気が、農作物や
暮らし・観光と結び付いている。

気象による災害

大雨

川のはんらん（洪水）、
土砂くずれなどの土砂災害

台風

強風・大雨・高潮
（海面が高くなる）

大雪

交通の乱れ、なだれ、
雪の重みによる被害

同じ雨や雪が、恵みにも災害にもなる。

気象情報（注意報・警報など）やハザードマップを使って、前もって災害に備えることが大切。

例は代表的なもの。地域によって、恵みや災害の種類・起こりやすさは違う。